

あつまれ

ティーンズ★ひろば

奈良で異文化交流を

オンラインで留学生歓迎会 ホストファミリーと一緒に



エスデパン(左)と各国の留学生を「ホストファミリー」として
迎えること(右)

異文化交流の機会を提供する教育団体、公益財団法人AFS
日本協会奈良支部(栗原絵美支部長)は13日、留学生歓迎会を
オンライン方式で開催した。

新型コロナウイルス感染症の拡大で
来日が延期となっていたエス、コス
タリカ、エクアドルなどから6人の
留学生は入国制限が緩和された11月か
ら順次来日。14日間のホテル待機など
の手続きを経た後、留学生は県内のホ
ームステイ先から高校に通う。

オンライン歓迎会では、留学生とホ
ストファミリーの自己紹介のあと、留
学生の母国紹介、留学生のために奈良
の観光コース案内、ホストファミリー同
士の各家庭の相談事話し合いなどで、
有意義な内容であった。

AFS日本協会奈良支部

コスタリカ出身のエステパン・バル
ガス・モンヘさん(18)は「日本は敵
身的な心を持つ国。自由から遠く離れ
たこの国の文化をできるだけ多く学び
たい。将来は日本に住み、日本語を使
う仕事に就きたい」と意欲的。ホスト
ファミリーの黒野みちこさんは「留学
生のホストファミリーになるのは夫婦
の夢だった。子どもには肌、目、髪の色
などの違いに敏感にならず育ってほ
しいという願いもあった。一緒に住め
ば、家族です」と、これからの生活
の期待を明かしながら話した。